

# 車椅子とクッション

## 簡易モジュール型車椅子

自走と介助の兼用タイプ  
1台17万円  
褥瘡にはモジュール型で対応する。



バックレスト(背もたれ)を外し、シート中央を持ち上げれば折りたためる。

フットレストも取り外し可能

座面のシートは折りたためるが幅の調整は不可。  
クッションが移動しないようにマジックテープが貼ってある。



ロホクッション  
エアタイプの凸凹状のクッションで空気入れのホースがついている。お尻に凸凹の跡がつくのが欠点。  
温度差により圧力が変わる(夏と冬、昼と夜)。



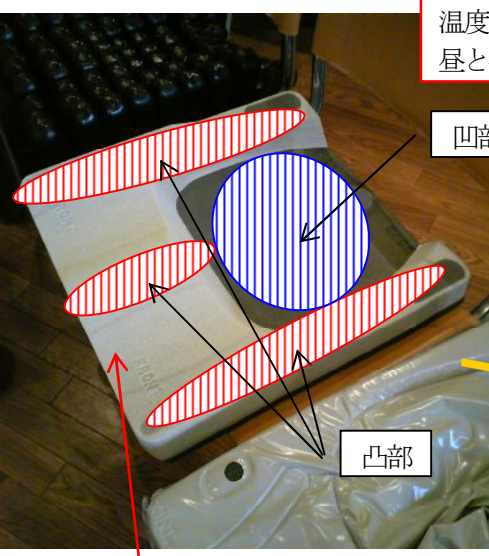
## 完全フルモジュール型車椅子

重度身体障害者用介助型、ティルトリクライニングタイプ  
1台100万円(日本に100台くらいしかない!)  
座面(鋼製のプレート)の幅も調整可能。  
ベッド生活の人はティルトタイプで。



## 標準型の車椅子(介助タイプ)

標準型は5~10m 歩ける人向き。



凹部

凸部

凹部はジェルが充填されておりお尻にかかる圧力が軽減される。

シリコンジェルとウレタンフォームを組み合わせた特殊形状のクッション  
6万円  
大転子と大腿部の裏側で体を支える。

上に重ねる。

カバーは伸縮性が大きく、通気性がよい。

